

「東北初の全国制覇」決意

10度目センバツ 光星、壮行式

第91回選抜高校野球大会(23日から12日間、甲子園)に出場する八学光星ナインの壮行式が8日、八戸市の

同校体育館で行われた。昨秋の東北地区大会でベンチ入りした選手20人や仲井宗基監督らがステージに登壇

し、「東北勢初の全国制覇を成し遂げる」と決意を示した。光星にとっては、センバ



壮行式で意気込みを述べる武岡龍世主将(手前)と選手たち
＝8日、八戸市

ツ出場10度目の節目となる今大会。壮行式には1、2年の生徒と教職員約600人が出席した。

冒頭、小野崎龍一校長が「出場おめでとう。最高のパフォーマンスを期待している」とあいさつ。生徒会長の2年堀合遥希さんが「毎日、夜遅くまで練習してきたことと思う。東北初の優勝旗を持ち帰ってきてほしい」と激励した。

仲井監督は「青森県、東北、学校の代表にふさわしい試合をする。皆さんと一緒に、光星の校歌を甲子園で数多く歌いたい」と意気込み。武岡龍世主将は「平成最後の大会に名を刻めるよう、精いっぱい頑張りたい」と宣言した。

各選手も「チームの勝利に貢献できるよう、自分の役割を全うしたい」などと抱負。最後は全員で校歌を斉唱し、気持ちを一つにした。(里村静)